



## 麻薬使用時の注意点について

### レスキューを上手に使用しましょう

#### レスキュー使用時の注意点

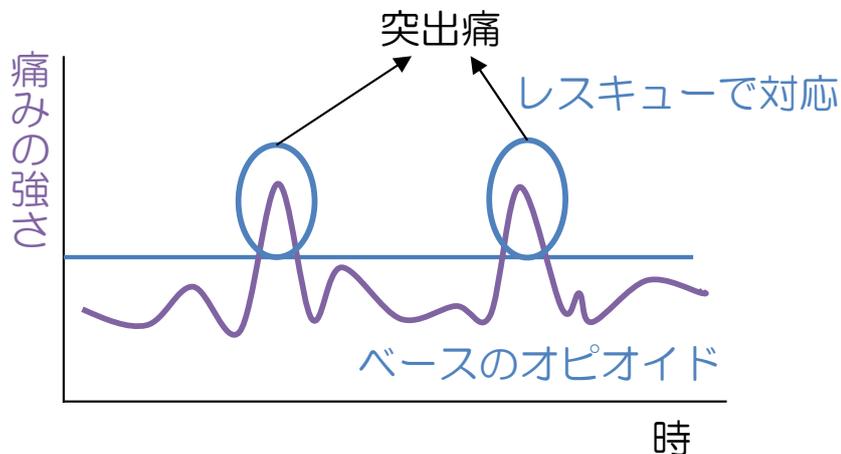
- 内服の場合：1回量は1日量の約1/6を目安に、持続注の場合：1時間量をフラッシュする。
- 内服の場合は1時間あければ（持続注の場合は効果判定後）**1日何度でも反復可**。レスキューは内服後30分～1時間、持続注の場合開始約15分で効果が最大となるため、効果判定を行う。
- **突出痛の出現が予測できる場合はレスキューの予防投与**を行う。
- **レスキューの使用が1日4回以上になるようであれば疼痛評価を行い、場合によっては定期薬の増量を考慮する**。定期薬の20～50%量を増量する。

#### 持続痛：

「1日のうち12時間以上持続する痛み」として患者によって表現される痛み。

#### 突出痛：

定期的に投与されている鎮痛薬で持続痛が良好にコントロールされている場合に生じる、短時間で悪化し自然消失する一過性の痛み。

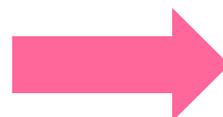


#### 当院で使用可能なレスキュー製剤（内服）

- 内外 オキノーム散（オキシコドン）2.5mg/0.5g/包、5mg/1g/包、  
緊 20mg/1g/包
- 内外 オブソ内服液（モルヒネ）5mg/2.5mL/包
- 内外 ナルラピド錠（ヒドロモルフォン）1mg/錠

内：院内採用 外：院外専用 緊：緊急購入

続きあり



院外処方において、麻薬の定期内服薬の処方は14日分または30日分までと決められていますが、レスキュー薬に処方回数  
の制限はありません

電子カルテでは、頓用薬を30回以上で処方すると、エラーが表示され  
ますが、処方の必要理由を入力すると処方が可能です。

### 【必要理由の入力方法】

- ①薬剤の用法用量まで入力する。  
薬品の下で行で右クリックし、行挿入を選択する。

Rp	選択薬品	数量	単位	
1	■オキノーム散5mg	1	包	変更
	痛い時	50	回分	変更
	4/04/12(金)			

行挿入  
行削除

- ②新しくできた行で右クリックし、定型コメントをクリックする。

Rp	選択薬品	数量	単位	
1	■オキノーム散5mg	1	包	変更
	痛い時	50	回分	変更
	12(金)			

行挿入  
行削除  
用法  
定型コメント  
フリーコメント

- ③必要理由をクリックし、「頓服処方のため」等の理由を入力する。

Rp	選択薬品	数量	単位	
1	■オキノーム散5mg	1	包	変更
1	一包化			
2	混合			
3	粉碎			
4	変更不可			
5	必要理由			
	痛い時	50	回分	変更
	2024/04/12(金)			

- ④処方が可能となります。

続きあり



オキシコンチンTR錠、フェントステープ、デュロテップMT  
パッチを慢性疼痛患者へ処方できるのは、e-learning受講医  
師のみです

薬剤を慢性疼痛治療に用いる際の注意点を理解いただき、患者が不適切な医療用麻薬の使用を行わないことを目的に適正使用管理体制が構築されています。上記の薬剤を慢性疼痛に用いる場合、処方医師には慢性疼痛治療に関するe-learningを受講していただくことが必要です。電子カルテで処方時にポップアップが表示されますが、処方時にご注意ください。

### 電子カルテでオーダ時のポップアップ表示例

慢性疼痛への処方時にe-learningの受講と確認書に患者の署名が必要です。また、慢性疼痛の場合はコメントで「慢性疼痛に使用」と記載して下さい。

不明な点につきましては、薬剤部医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。  
(文責 丹羽今日子)